

一般財団法人鳥取市教育福祉振興会 経営状況報告書

1 令和7年度 法人の概要

- (1) 名 称 一般財団法人鳥取市教育福祉振興会
- (2) 目 的 市民の心身の健康と、安定した生活及び地域社会の発展に寄与するため、所有する施設と、鳥取市から指定された施設を適切に管理するとともに、それらの施設を活用し、生涯学習の推進、文化芸術及びスポーツの振興を図ることを目的とする。
- (3) 設立許可年月日 昭和47年 2月 8日
- (4) 登記許可年月日 昭和47年 2月 9日
- (5) 移行認可年月日 平成25年 3月19日
- (6) 移行登記年月日 平成25年 4月 1日
- (7) 基 本 財 産 3,700,000円
(内訳)
鳥取市 金3,500,000円
旧国府町教育文化事業団 金 200,000円
- (8) 役 員 評 議 員 5人
理 事 6人
監 事 2人
理 事 長 (代表理事) 中 村 英 夫
- (9) 事 務 所 鳥取市西町二丁目311番地

2 令和7年度 事業報告

I 概 要

令和7年度事業は、所有する施設と鳥取市から指定された施設を活用して、市民の心身の健康と、安定した生活及び地域社会の発展に寄与するために必要な事業や活動を行った。

所有施設では、鳥取市福祉文化会館、国府町体育館の2施設を管理運営し、鳥取市北青少年研修センター（久松会館）と河原市民プールの2施設は、引き続き鳥取市へ無償貸与している。

鳥取市から指定管理を受けた、鳥取市武道館、鳥取市文化センター等8施設では、提案書に沿った管理運営、自主事業を実施した。鳥取市文化センター・鳥取市民会館においては、昨年から引き続き、自主事業を「まちづくり」「ひとづくり」につなげる「麒麟のまち・ひと未来プロジェクト」に取り組んでいる。

指定管理施設のうち、鳥取市武道館、国府町コミュニティセンターの2グループは、令和8年度以降の指定管理更新年であったが、無事、更新を受けることができた。

また、令和8年3月1日からは、新たに旧鳥取市役所跡地に整備された「鳥取市まちなか交流広場」の指定管理を開始した。3月20日には、市民約500人が集まり、開園セレモニーと、芝生のポット苗記念植樹を行った。

鳥取市からのソフト事業受託では、引き続き「（高齢者向け）生涯学習講座事業」「（文化活動実践者・鑑賞者の）次世代育成推進事業」に加えて、隔年で開催されている「日本のふるさと音楽祭」を受託し、事業の充実、安定に努めた。

法人の組織力向上においては、各種研修受講による職員の資質向上、若手職員の育成指導、働き方改革や健康増進に取り組んだ。

昨年5月から開始したキャッシュレス決済の運用も軌道に乗り、様々な料金支払いの場面で、電子マネーやクレジットカードを利用できることが、認知されてきた。

その他、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムなどのメディアを活用し、財団の運営や事業について市民へ周知し、利用者の増加につながるよう、広報、情報発信を積極的に行った。

II 事業内容

1. 法人事務局の運営

当財団の事務・事業を統括し、各種法令遵守を徹底し、所管施設の円滑な運営と支援に努めた。

2. 所有する教育、文化、体育施設の活用

(1) 所有施設の管理運営

① 鳥取市福祉文化会館

ア 施設管理

【主な取り組み】

- ・利用者に気持ちよく利用していただくため、館内外の清掃の徹底、及び備品等の整理整頓に努めた。

- ・消防避難訓練をテナント利用者と共に実施し、職員の防災意識の向上を図った。
(年 2 回)
- ・SDGs 活動の一環で、職員による施設周辺の環境美化に取り組んだ
- ・3 階トイレ前通路の電球を、人感センサー付 LED 電球に変更し、利用者の利便性向上と電気代の節約に努めた。
- ・光熱費が高騰していたため、無理のない範囲で節電・節水を心掛けた。

イ 利用状況

令和 7 年度		令和 6 年度		利用者数 前年対比 (7/6)	利用料金 前年対比 (7/6)
利用者数	利用料金	利用者数	利用料金		
16,299 人	4,076,520 円	15,064 人	2,803,150 円	108.2%	145.4%

② 国府町体育館

ア 施設管理

【主な取り組み】

- ・館内外清掃、周辺草刈、ごみ拾い、器具庫の整理整頓、ロビー周辺等の環境改善
- ・当日の利用状況をデジタルサイネージへ変更し、利用予定の明瞭化を図った
- ・水銀灯照明の球切れしたところから、順次 LED 灯へ置き換え。
- ・ポスター、チラシ等の広報物配置場所変更を行い、情報の一元化を行った。
- ・青少年、高齢者への減免規程を継続適用
- ・利用調整会(抽選会)による公平利用の確保
- ・とっとり施設予約システムの活用
- ・ホームページの充実

イ 利用状況

令和 7 年度		令和 6 年度		利用者数 前年対比 (7/6)	利用料金 前年対比 (7/6)
利用者数	利用料金	利用者数	利用料金		
32,380 人	2,676,540 円	28,846 人	2,447,500 円	112.2%	109.3%

(2) 所有施設の鳥取市への無償貸与(2施設)

契約期間：平成30年4月1日から令和10年3月31日まで

① 鳥取市北青少年研修センター(久松会館)

地区公民館・体育館として活用

② 河原市民プール

鳥取市民プールとして活用<6月～8月のみ使用>

令和7年9月 日本水泳連盟50m競泳プール公認を更新【5年有効】

3. 鳥取市武道館等の管理運営

指定管理期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

(1) 施設管理

① 鳥取市武道館

② 鳥取市千代テニス場・鳥取市城北テニス場 4月～12月・3月

【主な取り組み】

- ・武道館玄関、ロビー、道場の清掃等を実施し、施設の環境整備に努めた。
- ・武道館庭園の植栽剪定と芝刈り、除草作業を職員が実施し、武道館庭園及び鳥取城跡のお堀端周辺の環境美化に努めた。

- ・千代テニス場・城北テニス場周辺の植栽剪定、草刈作業及びコート内のライン補修、土入れ、整地等、職員で整備し経費削減とサービス向上を図った。
- ・無用な照明の消灯や、無駄な水の使用がないか確認し、節電、節水に努めた。
- ・武道関係団体、テニス関係団体と連携し、円滑な大会運営と各種講習会の実施に貢献した。
- ・利用料金支払いにキャッシュレス決済を継続して活用した。
- ・とっとり施設予約システムによるテニス場予約・決済サービスを提供した。
- ・利用者から柔道・剣道の指導について相談があった場合は、職員が指導を行い、基本技術の向上、武道の普及振興に貢献した。
- ・公認スポーツ施設管理士有資格者の配置により施設管理の質、利用者の満足度向上を図った。
- ・ホームページ及びSNS（Facebook）による施設の情報発信をした。

（２）利用状況

① 鳥取市武道館

令和７年度		令和６年度		利用者数 前年対比 (7/6)	利用料金 前年対比 (7/6)
利用者数	利用料金	利用者数	利用料金		
30,144 人	1,623,680 円	28,437 人	1,629,860 円	106.0%	99.6%

② 鳥取市テニス場（千代テニス場・城北テニス場）

令和７年度		令和６年度		利用者数 前年対比 (7/6)	利用料金 前年対比 (7/6)
利用者数	利用料金	利用者数	利用料金		
9,135 人	514,800 円	10,240 人	488,900 円	89.2%	105.3%

（３）自主企画事業

① 鳥取市武道館の自主事業

事業名	開催期間等	回数	参加人数
柔道教室（幼児～一般）	4月9日～3月18日	80回	延べ2,513人
剣道教室（幼児～小学生）	4月9日～3月18日	80回	延べ393人
リラックス ヨーガ教室(初級)	5月22日～7月10日	8回	延べ165人
リラックス ヨーガ教室(中級)	10月9日～11月13日	6回	延べ126人

（４）そ の 他

武道館を利用している武道7団体との共催によって、1月12日（祝）に、毎年恒例の「稽古始め及び鏡開き式」を開催。6武道7団体の関係者延べ760人が参加。

4. 鳥取市文化センターの管理運営

指定管理期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

(1) 施設管理

- ① 鳥取市生涯学習センター
- ② 鳥取市視聴覚ライブラリー
- ③ 鳥取市文化ホール
- ④ 鳥取市こども科学館
- ⑤ サテライトオフィス（鳥取市福祉文化会館内）

【主な取り組み】

- ・トイレ小便器用手すりの取り付けによるバリアフリー改善
- ・鏡のない地下練習室へ移動式の鏡を設置
- ・第2駐車場ゲートの満空車表示灯を閉館後にタイマー消灯できるよう改善
- ・とっとり施設予約システムによる貸館予約情報の提供
- ・ホームページ、SNS（Facebook、Instagram、YouTube）の充実

(2) 利用状況

令和7年度		令和6年度		利用者数 前年対比 (7/6)	利用料金 前年対比 (7/6)
利用者数	利用料金	利用者数	利用料金		
77,186 人	11,161,820 円	77,957 人	13,109,810 円	99.0%	85.1%

(3) 麒麟のまち・ひと未来プロジェクト（自主事業）

ア 鑑賞事業

事業名	開催時期等	入場者数
ギャラリーコンサート 出演：ソプラノ中原美幸ほか	年4回	延べ311人
クララとクロダのひょっこりシネマ ×文化センター「みんなでたのしむ映画 上映会」 ・ロボットドリームズ ・九十歳。何がめでたい	年2回	延べ650人
グランプリ・コンサート2025 ※共催事業	11月13日(木)	266人

イ 交流促進・賑わい創出事業

事業名	開催時期等	入場者数
ミニアートギャラリー ・竹内ロウ水彩画展 ・りりぽっち作品展 ・きらめきアート展 ・青木幸太写真展	年4回	延べ1,749人
合唱フェスティバル Amabile	3月29(日)	505人

※文化ホール空調機不具合のため、7月22日～9月30日、12月1日～2月28日文化ホール利用休止

ウ 施設体験事業

事業名	開催時期等	入場者数
スタインウェイピアノを弾こう！ 1	5月18日(土) 19日(日)	延べ47人
スタインウェイピアノを弾こう！ 2	9月6日(土) 7日(日)	ホール空調 不具合で中止
わくわくホール探検ツアー	9月23日 (火・祝)	ホール空調 不具合で中止

(4) 第25回日本のふるさと音楽祭(受託事業)

日 時	会 場	来場者	内 容
9月13日(土) 14:00~16:05	鳥取市民会館 大ホール	368人	岡野貞一、田村虎蔵、永井幸次 らを顕彰するコンサート ゲスト：山本耕平(オペラ歌手)、 高木伶(ピアノ演奏者)、尾前加 寿子(ソプラノ歌手) 地元出演者：鳥取市少年少女合唱 団、岡野貞一記念合唱団、こ ども園かける、稲葉幼稚園・ 稲葉保育園

(5) 鳥取市子ども科学館事業

事業名	開催時期等	参加者数
年間講座 わくわく科学ワークショップ ほか5事業	6月~12月 全42回	延べ307人
展示事業 常設展示ほか4事業		5,001人
企画事業 春のサイエンスショーほか9事業		251人
アウトリーチ事業 科学のふれあい宅配便	6月~12月	13件・272人
市民参画事業 第50回鳥取子どもまつり	4月27日(日)	3,360人

(6) 生涯学習講座「麒麟のまちアカデミー」(鳥取市受託事業)

① 鳥取市尚徳大学

ア 対 象：因幡・但馬麒麟のまち圏域在住及び在勤の概ね60歳以上の方

イ 受講生：363人

【圏域6町の内訳】計14人

岩美町2人、智頭町2人、八頭町6人、香美町1人、新温泉町3人

コース名	社会	健康	郷土	園芸	いきいき 体操	書道	彫刻	絵画
受講生	53 人	50 人	93 人	41 人	48 人	36 人	19 人	23 人

ウ 作品展 11月8日(土)、9日(日) 延べ323人

エ 鳥取市尚徳大学合同学習(年2回)
4月22日(火)、11月25日(火) 延べ379人

オ 機関誌「年輪51号」発刊
特別奨励賞受賞者(22人)、皆勤賞受賞者(109人)の表彰など

② 教養コース

ア 対象：因幡・但馬麒麟のまち圏域在住または在勤の方

イ 開講状況

講座名	開催時期等	受講者数
「気象予報士が教える 災害への備えと日常のヒント」ほか13講座	5月～3月	計352人 (うち市域外51人)

③ 技能コース

ア 対象：因幡・但馬麒麟のまち圏域在住または在勤の方

イ 講座名ほか

講座名	開催時期等	受講者数
書道教室(前期・後期)	全20回	延べ350人
華道教室(前期・後期)	全20回	延べ168人 (うち市域外5人)
メンタルヘルストレーニング教室 (前期・後期)	全20回	延べ101人
茶道教室(前期・後期)	全20回	延べ98人 (うち市域外1人)
骨盤メンテナンス教室(前期)	全10回	延111人 (うち市域外1人)
むくみのデトックス教室(後期)	全10回	延べ99人

前期：5月～9月、後期：10月～2月

④ ジュニアチャレンジ講座

ア 対象：因幡・但馬麒麟のまち圏域の小学生 延べ80人受講

イ 講座名ほか

講座名	開催時期等	受講者数
麒麟獅子舞体験教室	全1回	延べ11人
安来節体験教室	全1回	延べ2人
体軸あそび教室	全3回	延べ19人
箏教室	全6回	延べ48人

⑤ ファブラボとっとり

幅広い年齢層の市民が自由なものづくりを実現できる市民工房。レーザー加工機、ガーメントプリンター、レーザー加工機などを通して、こどもから大人まで参加できる、ものづくり体験教室を開催した。

ア 利用者数 1, 374人

イ 新規会員研修 年15回開催、延べ79人参加

ウ 企画事業

事業名	参加者数
ファブラボの夏休み工作	8人
デジタル工作体験①刺しゅうミシン	5人
クリスマスLED工作教室	6人
デジタル工作体験②ガーメントプリンター	6人

⑥ ものづくりアドバイザー派遣事業

鳥取市内の小・中学生を対象にものづくりアドバイザーの派遣を仲介し、ものづくりイベントの開催支援、人材育成に貢献した。

派遣先等	参加者数
前期 (4/1～9/30) 浜坂小学校3年生親子会ほか43件	延べ1,101人
後期 (10/1～2/28) 鳥大付属小学校4年生親子会ほか9件	延べ319人

⑦ 市民教授ネットワーク

生涯学習の様々な分野で、知識・技能・指導経験を有する市民を「市民教授」として登録し、公民館等への派遣講師を仲介し、生涯学習の推進に貢献する事業。昨年同様、講師の登録更新について意思確認を行った。

【仲介応募なし】

(7) 鳥取・放送文化ライブラリーの運営（鳥取市受任事業）

郷土に関する放送番組の保存、公開を通じて地方文化の向上に寄与する。

事業名	開催時期等	参加者数
ふるさとの映像を見る会	毎月1回・第3木曜日2回公開 ① 10:00～、②14:00～	延べ577人

(8) その他

① 文化センター施設見学2件（日進小学校3年生、世紀小学校2年生）

② 吉方温泉三丁目町内会との合同消防訓練実施 23人

③ 令和7年度日進地区防災訓練への参加 1人（11月）

④ 職員による施設周辺一斉清掃実施（毎月上旬に1回実施）

⑤ 鳥取県劇場等職員セミナー プロジェクトチーム参加 1人（全6回）

5. 鳥取市民会館の管理運営

指定管理期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

(1) 施設管理

【主な取り組み】

- ・保守点検業務の仕様見直しによる経費の適正化
- ・市民サロンギャラリーのスポットライト増設
- ・屋外照明をLEDに取り換えて照度を改善
- ・駐車場区画線の引き直し、車輪止めブロックの設置
- ・とっとり施設予約システムの活用
- ・ホームページ、SNSの充実

(2) 利用状況

令和7年度		令和6年度		利用者数 前年対比 (7/6)	利用料金 前年対比 (7/6)
利用者数	利用料金	利用者数	利用料金		
42,604 人	6,593,410 円	43,224 人	7,810,920 円	98.5%	84.4%

(3) 麒麟のまち・ひと未来プロジェクト（自主事業）

事業名	開催時期等	入場者数
子ども茶道体験会	4月29日(火) 4月30日(水)	23 人
「GABEZライブマンガ」	5月18日(日)	195 人
麒麟のまち和太鼓の祭典	8月3日(日)	445 人
スタインウェイピアノを弾こう！ (夏編)	8月23日(土) 8月24日(日)	22 人
映画「あの日のオルガン」上映会	10月19日(日)	173 人
第7回～麒麟のまち～ 中学校吹奏楽フェスティバル	令和8年 1月18日(日)	431 人
スタインウェイピアノを弾こう！ (冬編)	2月8日(土)～ 2月11日(火)	28 人
ザ・クロマニヨンズツアー “JAMBO JAPAN 2025-2026”	令和8年 3月22日(日)	851 人
市民サロンギャラリー（4事業）	4月～11月	2,101 人

(4) 次世代育成推進事業（鳥取市受託事業）

事業名	開催時期等	入場者数等
中学生のための 吹奏楽クリニック2025	5月～2月 (計16回)	延べ431 人
0歳児からのコンサート	①6月22日(日) ②10月11日(土)	延べ287 人

こどもワークショップ 「和太鼓ワークショップ」	6月～7月 全4回	延べ89人
次世代育成 芸術家活動支援事業	10月～12月 全5回	延べ363人
シルエット劇場	令和8年 2月25日(水)	延べ1,125人

6. 鳥取市まちなか交流広場の管理運営

指定管理期間：令和8年3月1日から令和11年3月31日まで

※今年度は1か月のみ指定管理、造成後まもなく、植栽の成長を見守りながらの管理となった。

(1) 施設管理

【主な取り組み】

- ・日常巡回の徹底
- ・環境美化維持（草取り、落ち葉拾い、ゴミ拾い）
- ・芝生や樹木などの特性に応じた維持管理
- ・業務日誌の記録から維持管理のPDCAを実施
- ・夜間電話対応（外部委託）
- ・公衆トイレ清掃（外部委託）

(2) 利用状況

区 分 \ 年 度	令和7年度 目 標	令和7年度 実 績
使用者数	600人	1,144人

7. 鳥取市国府町コミュニティセンター等の管理運営

指定管理期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

(1) 施設管理

- ① 鳥取市国府町コミュニティセンター
- ② 鳥取市国府町農村勤労福祉センタープール 6月下旬頃～8月31日

【主な取り組み】

- ・職員による施設周辺の除草作業を定期的実施
- ・とっとり施設予約システムの活用
- ・ホームページ、SNS（フェイスブック）の充実

(2) 利用状況

① 鳥取市国府町コミュニティセンター

令和7年度		令和6年度		利用者数 前年対比 (7/6)	利用料金 前年対比 (7/6)
利用者数	利用料金	利用者数	利用料金		
10,666人	819,550円	12,611人	922,450円	84.5%	88.8%

② 鳥取市農村勤労福祉センタープール

令和7年度		令和6年度		利用者数 前年対比 (7/6)	利用料金 前年対比 (7/6)
利用者数	利用料金	利用者数	利用料金		
3,386人	216,550円	3,365人	204,700円	100.6%	105.7%

(3) 自主企画事業

事業名	開催時期等	入場者数ほか
水泳教室	7月31日(木)～8月3日(日)	延べ163人
ホールコンサートきなんせ	8月24日(日)	170人
星を見る会	11月1日(土)	9組26人
親子で楽しむおはなし会	3月7日(土)	親子2組4人

8. その他定款の目的を達成するために必要な事業

(1) SDGsの実現に向けた法人の取り組み

当法人が定款に定める設立目的とSDGsの理念は、進む方向を同じくするものと共感し、令和4年6月から「とっとりSDGsパートナー」へ登録しました。それ以降、法人事業の中で、また職員一人一人が個人目標を立てて、取り組みを継続しています。

- ① 市民の皆様が心豊かに健康で過ごしていただけるよう、生涯学習やスポーツの機会を促進するとともに、質の高い文化芸術の提供に取り組みます。
- ② 女性の活躍を推進し、ハラスメントの防止や育児・介護への配慮など働きやすい職場環境づくりに取り組みます。
- ③ 職員の人材育成を推進するとともに、職員の健康増進やワーク・ライフ・バランスの推進を図り、互いに成長しあえる職場づくりに取り組みます。
- ④ 資源消費の低減、業務のデジタル化、効率化に継続して取り組み、生産性向上と、コスト削減を目指します。

(2) 各種文化・芸術活動への協賛・後援

- ① 鳥取市民美術展 版画部門(協賛)
- ② 鳥取しゃんしゃん祭(協賛)
- ③ 文化団体等の活動に対する名義後援、広報協力

(3) その他の取り組み

- ① 鳥取県がん検診推進パートナー企業認定(平成25年12月4日)
- ② あいサポート団体認定(平成30年1月5日)
- ③ 鳥取市男女共同参画かがやき企業認定(令和2年12月1日)
- ④ 社員の健康づくり宣言事業所認定(令和3年10月8日)
- ⑤ 家庭教育推進協力企業認定(令和5年12月15日)
- ⑥ 鳥取県男女共同参画推進企業認定(令和5年12月26日)
- ⑦ 職員給与明細の電子配信開始(令和6年6月～)
- ⑧ 職員健康診断のがん検診項目に腫瘍マーカー等追加(令和7年7月～)

3 収支計算書総括表

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	1,000	8,695	△ 7,695
基本財産利息収入	1,000	8,695	△ 7,695
特定資産運用収入	2,000	128,114	△ 126,114
特定資産利息収入	2,000	128,114	△ 126,114
事業収入	242,441,000	245,366,938	△ 2,925,938
利用料収入	39,846,000	38,498,380	1,347,620
委託料収入	20,294,000	20,124,078	169,922
指定管理料収入	182,301,000	186,744,480	△ 4,443,480
補助金等収入	62,444,000	62,141,089	302,911
地方公共団体補助金収入	62,444,000	62,130,089	313,911
地方公共団体助成金収入	0	11,000	△ 11,000
負担金収入	252,000	1,585,172	△ 1,333,172
負担金収入	252,000	1,585,172	△ 1,333,172
雑収入	5,571,000	13,137,158	△ 7,566,158
雑収入	5,571,000	13,137,158	△ 7,566,158
事業活動収入計	310,711,000	322,367,166	△ 11,656,166
2. 事業活動支出			
事業費支出	285,586,000	284,876,547	709,453
給料手当支出	91,048,000	89,334,650	1,713,350
臨時雇賃金支出	1,368,000	1,448,458	△ 80,458
賞与手当	17,701,000	19,583,174	△ 1,882,174
退職給付支出	2,292,000	2,274,000	18,000
福利厚生費支出	18,043,000	17,195,138	847,862
旅費交通費支出	272,000	309,930	△ 37,930
通信運搬費支出	2,482,000	2,189,839	292,161
消耗什器備品費支出	631,000	1,865,909	△ 1,234,909
消耗品費支出	4,892,000	6,320,581	△ 1,428,581
修繕費支出	11,119,000	11,532,543	△ 413,543
印刷製本費支出	1,400,000	1,277,217	122,783
燃料費支出	2,611,000	2,311,356	299,644
光熱水料費支出	46,297,000	41,314,835	4,982,165
賃借料支出	4,421,000	4,918,734	△ 497,734
保険料支出	1,095,000	1,048,622	46,378
諸謝金支出	5,042,000	4,895,520	146,480
租税公課支出	13,494,000	9,836,529	3,657,471
負担金支出	802,000	898,320	△ 96,320
委託費支出	51,807,000	50,093,670	1,713,330
手数料支出	3,798,000	4,765,303	△ 967,303
諸経費支出	3,612,000	9,990,200	△ 6,378,200
管理諸費支出	699,000	718,817	△ 19,817
雑支出	660,000	753,202	△ 93,202
管理費支出	24,758,000	27,774,191	△ 3,016,191
役員報酬支出	3,300,000	3,159,000	141,000
給料手当支出	11,154,000	11,320,078	△ 166,078
賞与手当	2,011,000	2,750,660	△ 739,660
退職給付支出	504,000	444,000	60,000
福利厚生費支出	2,588,000	2,847,172	△ 259,172

科 目	予算額	決算額	差 異
旅費交通費支出	54,000	234,490	△ 180,490
通信運搬費支出	137,000	112,910	24,090
消耗什器備品費支出	10,000	1,567,519	△ 1,557,519
消耗品費支出	600,000	783,781	△ 183,781
修繕費支出	40,000	95,851	△ 55,851
印刷製本費支出	0	33,096	△ 33,096
燃料費支出	20,000	21,587	△ 1,587
賃借料支出	1,023,000	1,214,449	△ 191,449
保険料支出	206,000	388,122	△ 182,122
租税公課支出	2,234,000	1,606,222	627,778
負担金支出	226,000	158,220	67,780
手数料支出	431,000	745,639	△ 314,639
管理諸費支出	85,000	84,183	817
雑支出	135,000	207,212	△ 72,212
事業活動支出計	310,344,000	312,650,738	△ 2,306,738
事業活動収支差額	367,000	9,716,428	△ 9,349,428
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	2,000	7,785,615	△ 7,783,615
退職給付引当資産取得支出	1,000	22,841	△ 21,841
財政資金積立資産取得支出	1,000	7,762,774	△ 7,761,774
固定資産取得支出	365,000	1,544,400	△ 1,179,400
建物購入支出	235,000	231,000	4,000
構築物購入支出	0	704,000	△ 704,000
什器備品購入支出	130,000	609,400	△ 479,400
投資活動支出計	367,000	9,330,015	△ 8,963,015
投資活動収支差額	△ 367,000	△ 9,330,015	8,963,015
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
他会計振替収入	0	2,926,000	△ 2,926,000
財務活動収入計	0	2,926,000	△ 2,926,000
2. 財務活動支出			
他会計振替支出	0	2,926,000	△ 2,926,000
財務活動支出計	0	2,926,000	△ 2,926,000
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	0		0
当期収支差額	0	386,413	△ 386,413
前期繰越収支差額	0	3,070,295	△ 3,070,295
次期繰越収支差額	0	3,456,708	△ 3,456,708

4 貸借対照表

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	19,368,274	12,990,784	6,377,490
未収金	4,755,605	5,202,676	△ 447,071
流動資産合計	24,123,879	18,193,460	5,930,419
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,700,000	3,700,000	0
基本財産合計	3,700,000	3,700,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	11,499,906	11,477,065	22,841
財政資金積立資産	50,802,748	43,039,974	7,762,774
特定資産合計	62,302,654	54,517,039	7,785,615
(3) その他固定資産			
建物	116,788,036	129,675,027	△ 12,886,991
什器備品	6,077,538	7,850,231	△ 1,772,693
構築物	841,147	196,184	644,963
ソフトウェア	154,000	385,000	△ 231,000
預託金	0	5,480	△ 5,480
その他固定資産合計	123,860,721	138,111,922	△ 14,251,201
固定資産合計	189,863,375	196,328,961	△ 6,465,586
資産合計	213,987,254	214,522,421	△ 535,167
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	19,177,481	13,311,545	5,865,936
預り金	1,489,690	1,811,620	△ 321,930
流動負債合計	20,667,171	15,123,165	5,544,006
2. 固定負債			
退職給付引当金	11,499,906	11,477,065	22,841
固定負債合計	11,499,906	11,477,065	22,841
負債合計	32,167,077	26,600,230	5,566,847
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,700,000	3,700,000	0
指定正味財産合計	3,700,000	3,700,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,700,000	3,700,000	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	178,120,177	184,222,191	△ 6,102,014
(うち特定資産への充当額)	50,802,748	43,039,974	7,762,774
正味財産合計	181,820,177	187,922,191	△ 6,102,014
負債及び正味財産合計	213,987,254	214,522,421	△ 535,167

5 正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	8,695	922	7,773
基本財産受取利息	8,695	922	7,773
特定資産運用益	128,114	15,292	112,822
特定資産受取利息	128,114	15,292	112,822
事業収益	245,366,938	238,399,459	6,967,479
利用料収益	38,498,380	40,228,150	△ 1,729,770
委託料収益	20,124,078	16,441,990	3,682,088
指定管理料収益	186,744,480	181,729,319	5,015,161
受取補助金等	62,141,089	61,430,873	710,216
受取地方公共団体補助金	62,130,089	61,430,873	699,216
受取地方公共団体助成金	11,000	0	11,000
受取負担金	1,585,172	121,810	1,463,362
受取負担金	1,585,172	121,810	1,463,362
雑収益	13,137,158	8,061,545	5,075,613
雑収益	13,137,158	8,061,545	5,075,613
経常収益計	322,367,166	308,029,901	14,337,265
(2) 経常費用			
事業費	307,184,147	300,862,235	6,321,912
役員報酬	1,500,000	1,500,000	0
給料手当	95,086,650	94,266,009	820,641
臨時雇賃金	1,448,458	1,148,301	300,157
賞与手当	19,583,174	18,698,078	885,096
退職給付費用	2,274,000	1,988,000	286,000
福利厚生費	18,076,138	18,006,938	69,200
減価償却費	14,169,120	18,462,546	△ 4,293,426
旅費交通費	309,930	600,050	△ 290,120
通信運搬費	2,189,839	2,052,471	137,368
消耗什器備品費	1,865,909	1,504,314	361,595
消耗品費	6,320,581	4,893,254	1,427,327
修繕費	11,532,543	10,828,029	704,514
印刷製本費	1,277,217	612,549	664,668
燃料費	2,311,356	2,988,461	△ 677,105
光熱水料費	41,314,835	44,782,125	△ 3,467,290
賃借料	4,918,734	3,919,632	999,102
保険料	1,048,622	977,504	71,118
諸謝金	4,895,520	3,970,000	925,520
租税公課	9,836,529	10,771,505	△ 934,976
支払負担金	898,320	860,920	37,400
委託費	50,093,670	47,707,512	2,386,158
支払手数料	4,770,783	4,415,919	354,864
諸経費	9,990,200	4,547,106	5,443,094
管理諸費	718,817	718,685	132
雑費	753,202	642,327	110,875
管理費	21,285,033	18,671,314	2,613,719
役員報酬	1,659,000	1,595,000	64,000
給料手当	5,568,078	6,554,171	△ 986,093

科 目	当年度	前年度	増 減
賞与手当	2,750,660	2,055,840	694,820
退職給付費用	466,841	478,069	△ 11,228
福利厚生費	1,966,172	1,814,193	151,979
減価償却費	1,621,001	1,076,648	544,353
旅費交通費	234,490	146,840	87,650
通信運搬費	112,910	131,126	△ 18,216
消耗什器備品費	1,567,519	396,880	1,170,639
消耗品費	783,781	255,845	527,936
修繕費	95,851	0	95,851
印刷製本費	33,096	896	32,200
燃料費	21,587	16,182	5,405
賃借料	1,214,449	1,040,720	173,729
保険料	388,122	175,452	212,670
租税公課	1,606,222	1,726,977	△ 120,755
支払負担金	158,220	205,155	△ 46,935
支払手数料	745,639	576,334	169,305
管理諸費	84,183	84,315	△ 132
雑費	207,212	340,671	△ 133,459
経常費用計	328,469,180	319,533,549	8,935,631
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,102,014	△ 11,503,648	5,401,634
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,102,014	△ 11,503,648	5,401,634
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	61,038	△ 61,038
什器備品売却損	0	61,038	△ 61,038
経常外費用計	0	61,038	△ 61,038
当期経常外増減額	0	△ 61,038	61,038
当期一般正味財産増減額	△ 6,102,014	△ 11,564,686	5,462,672
一般正味財産期首残高	184,222,191	195,786,877	△ 11,564,686
一般正味財産期末残高	178,120,177	184,222,191	△ 6,102,014
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,700,000	3,700,000	0
指定正味財産期末残高	3,700,000	3,700,000	0
III 正味財産期末残高	181,820,177	187,922,191	△ 6,102,014

6 財産目録

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	250,000
	預金	普通預金	運転資金として	19,118,274
		鳥取銀行		17,628,584
		鳥取銀行		1,489,690
	未収金	施設利用者 外	令和7年度収入として	4,755,605
流動資産合計				24,123,879
(固定資産)				
基本財産	定期預金	定期預金 鳥取銀行	法人会計の保有財産	3,700,000
特定資産	退職給付引当資産	定期預金 鳥取銀行	職員の退職金の支払いに備えたもの	11,499,906
	財政資金積立資産	定期預金 鳥取銀行	管理運営費に備えたもの	50,802,748
その他固定資産	建物	鳥取市福祉文化会館 外	管理運営の用に供している	116,788,036
	什器備品	除雪機 外	管理運営の用に供している	6,077,538
	構築物	国府町体育館バリアカー設置 外	管理運営の用に供している	841,147
	ソフトウェア	おりこうブログAI	管理運営の用に供している	154,000
固定資産合計				189,863,375
資産合計				213,987,254
(流動負債)				
	未払金	とっとり市民電力 外	3月分電気代 外	19,177,481
	預り金	鳥取年金事務所 外	3月分社会保険料 外	1,489,690
流動負債合計				20,667,171
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員用	職員の退職金として	11,499,906
固定負債合計				11,499,906
負債合計				32,167,077
正味財産				181,820,177

7 令和8年度 事業計画

I 基本方針

1. 市民の心身の健康と、安定した生活及び地域社会の発展に寄与するため、所有する施設と、鳥取市から指定された施設を適切に管理すると共に、それらの施設を活用し、生涯学習の推進、文化芸術及びスポーツの振興をはかる。
2. SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みに加え、次世代の職員育成、働き方改革や健康増進活動に継続して取り組み、法人のイメージアップ、並びに組織力強化をはかる。
3. 法人全体の魅力ある事業、会館運営などを広く市民に広報するため、ホームページやSNSなどを活用した広報活動・情報発信を行い、集客数増加をねらう。
4. 文化施設の再編後を見据え、法人として新施設の運営に参画できるよう、さらに組織力の強化や職員の資質向上をはかる。
5. 利用者の利便性向上を念頭に、引き続きサービス向上を模索、推進する。
6. 鳥取市民会館・鳥取市文化センターを「麒麟のまち」における文化芸術の中心施設として位置付け、「まちづくり」「ひとづくり」を目標に「麒麟のまち・ひと未来プロジェクト」と題して、地域に根ざした文化芸術事業に取り組む。

II 事業内容

1. 法人の管理運営

一般財団法人鳥取市教育福祉振興会の事務・事業を適法、円滑に推進。

2. 所有する教育、文化、体育施設の活用

(1) 所有施設の管理運営

- ・鳥取市福祉文化会館
- ・国府町体育館

(2) 所有施設の貸与

- ・鳥取市北青少年研修センター（久松会館）
地区体育館並びに公民館としての活用
- ・河原市民プール（50m日本水泳連盟競泳公認取得）
6月から8月の期間、市民プールとして活用（令和7年9月公認再取得済）

(3) 鳥取市福祉文化会館の機能移転に向けた取り組み

鳥取市において「ホール等文化施設のあり方に関する基本方針」が決定され、文化施設の再編に向け、「耐震性能が著しく低い施設については、優先的に対応する必要がある」とされている。

具体的には、鳥取市福祉文化会館（I s 値 0.29）を、施設再編の方向性が固まれば、他の再編対象施設よりも早い時期に機能移転、再配置していこうというものである。今後、鳥取市と協調し、関係者の理解・協力を得ながら、同館が円滑に機能移転できるよう取り組んでいく。

3. 鳥取市文化センターの管理運営

市民の生涯学習の推進並びに学術及び地域文化の発展を図り、鳥取市との協定内容の確実な履行を果たしていく。指定管理期間の3年目を迎える。

(1) 施設管理

- ① 鳥取市生涯学習センター
- ② 鳥取市視聴覚ライブラリー
- ③ 鳥取市文化ホール
- ④ 鳥取市こども科学館
- ⑤ サテライトオフィス（鳥取市福祉文化会館内）

(2) 鳥取市こども科学館事業

子ども達の思考力や発想力を育むため、事業の柱を科学講座、工作講座、プログラミング講座、体験講座、展示事業、アウトリーチ事業、市民参画事業に分け、体験学習を主体に地域の社会活動に貢献します。

①科学講座

こどもが主体的に学び体験することができる講座の開催。わくわく科学ワークショップ、チャレンジ科学ワークショップ、サイエンスショー（春・夏・秋・冬）の3講座を開催。

②工作講座（4事業）

こどもたちの発想力や表現力を育むことを目的とし、様々な分野のものづくり体験を、こどもたちが主体的に行える場を提供する。

- ・第3土曜日は工作体験（3期／各3回）
- ・親子でチャレンジ！夏休み工作体験（8月／1回）
- ・科学遊びをやってみよう！でー（11月／1回）
- ・作って遊ぼう！（2月／1回）

③プログラミング講座（6事業）

小学校の授業にプログラミング教育が導入されたことを受け、低学年ではプログラミング的な考え方の基本を学び、高学年以上ではプログラミングと電子工作やドローン、模型自動車の自動運転を通して、問題を解決するための論理的思考の基礎を身に付ける。

- ・はじめてのプログラミング（小学1・2年生／9月～12月／4回）
- ・はじめてのプログラミング（小学3・4年生／6月～12月／5回）
- ・プログラミングで作る（基礎編）「コミュニケーションロボット」
【前期・後期】（小学4年～中学生／6月～2月／8回）
- ・プログラミングで作る（応用編）「気象センサー」
【前期・後期】（小学5年～中学生／6月～2月／8回）
- ・レゴEV-3自動運転プログラミング体験（小学5・6年生／7月／3回）
- ・プログラミングドローン体験（小学3～6年／7月～1月／3回）

④体験講座（5事業）

親子で体験学習を通じて、陶芸の楽しさ、ドローンの新しいテクノロジーの体感、自然観察・天体観察による科学の楽しさを知るきっかけ作りを行う。

- ・親子陶芸ワークショップ（小学生と保護者／3期／各2回）
- ・ドローンの操縦を体験しよう（5月～3月／3回）
- ・スマホで星景写真を撮ろう（小中学生と保護者／8月／1回）
- ・フィールドワークショップきこの観察（小学生と保護者／10月／1回）
- ・宇宙ふしぎ探検（小学4～6年／1月／1回）

⑤展示事業（6事業）

常設展示では、定期的な展示の入れ替えや時事情報の更新などにより、市民に情報発信を行い、科学に対する興味を喚起する。また、科学の原理を学べる遊具などを設置し、科学館の利用促進を図る。企画展示では、ものづくり協力会議、さじアストロパーク、全国科学館連携協議会との連携による宇宙から生物学、ものづくりまでの幅広く様々なことに関心をもっていただくきっかけ作りを行う。また、夏休みの特別展は、自由研究の参考にいただけるようなテーマで来館者の科学に対する興味を喚起する。

- ・常設展示（通年）
- ・企画展「ものづくりアドバイザー作品展」（6月）
- ・企画展「単位の科学」（7月～8月）
- ・全国科学館連携協議会巡回展
「百鬼騒乱 ～災いと妖怪伝承～」（10月）

- ・全国科学館連携協議会巡回展
「いのちってなに？」（12月）

- ・宇宙の写真展（2月）

⑥アウトリーチ事業（1事業）

小学校、子ども会、公民館、図書館、児童館、学童保育、障がい児支援施設を含む、教育施設に出向いてサイエンスショーと実験体験を開催し、青少年の健全育成と地域の社会教育に貢献する。

- ・科学のふれあい実験体験（4月～3月／随時）

⑦市民参画事業（1事業）

市民参画により、こども達の思い出に残る体験イベントを開催し、ものづくり体験や各種レクリエーションを通じて青少年の健全育成を図る。

- ・第51回鳥取こどもまつり（4月）

未就学児及び小学生を対象とし、体験ブース、工作ブース、ステージブース、特別企画を通じてこども達の思い出に残る体験イベントを開催する。

（3）生涯学習講座「麒麟のまちアカデミー」 ※鳥取市受託事業

鳥取市生涯学習事業を一部受託し、高齢者向けの教養講座「鳥取市尚徳大学」、一般向けの教養講座「麒麟のまちゼミナール（旧教養コース・技能コース、ジュニアチャレンジコース、旧市民大学）」、市民工房「ファブラボとっとり」、ものづくりアドバイザー派遣事業、市民教授ネットワークを企画・実施し、因幡・但馬の1市6町における協調を図り、新しい生涯学習の価値創造や発展を目指す。

①鳥取市尚徳大学

高齢者の社会的知識を高め、社会参加を促す学習機会を提供するとともに学習した知識を地域に還元する等、受講生の自己実現を支援する。

ア 期 間 4月から11月まで

イ 対 象 因幡・但馬麒麟のまち圏域在住又は在勤の概ね60歳以上の方

ウ 講 座

- ・社会コース（全6回／定員80人）
- ・健康コース（全6回／定員80人）
- ・郷土コース（全6回／定員100人）
- ・園芸コース（全6回／定員40人）
- ・いきいき体操コース（全6回／定員30人）
- ・書道コース（全10回／定員40人）
- ・彫刻コース（全10回／定員40人）
- ・絵画コース（全10回／定員40人）
- ・合同学習（全3回／定員450人）

エ その他 作品展、機関紙「年輪」第52号発行

②麒麟のまちゼミナール

麒麟のまち圏域の方が自由に学ぶことができる学習環境を整備するとともに、現代の社会的情勢や課題に対応した学習機会の充実をはかる。

ア 開講期間 5月～3月

イ 会 場 鳥取市文化センターおよび6町の施設

ウ 対 象 因幡・但馬麒麟のまち圏域に在住又は在勤の方

エ 講 座

■教養コース

- ・麒麟のまち圏域連携講座（全8回／定員各50人程度）
- ・大学連携講座（全3回／定員各50人程度）
- ・鳥取放送文化講座（全1回／定員50人）
- ・目指せマイスター講座（全4回／定員各20人程度）
- ・ジュニアチャレンジ講座（全2回／定員各20人程度）

■技能コース

- ・骨盤メンテナンス教室（前期のみ 10 回／定員 15 人）
- ・むくみのデトックス教室（後期のみ 10 回／定員 15 人）
- ・メンタルヘルストレーニング教室
（前期・後期 各 10 回／定員各 10 人）
- ・書道教室（前期・後期 各 10 回／定員各 15 人）
- ・華道教室（前期・後期 各 10 回／定員各 10 人）
- ・茶道教室（前期・後期 各 10 回／定員各 5 人）

③ファブラボとっとり

世界のものづくりネットワークにつながる「ファブラボとっとり」の管理を通じて、「つくる文化」や「つくる技術」を市民に広め、市民の生涯学習の一助となる。

ア 開館時間

午前 9 時から午後 5 時まで

イ 休 館 日

毎週月曜日、年末年始

ウ おもな設置機器

3D プリンター、レーザー加工機、ガーメントプリンター、刺繍ミシン

エ 会員研修

安全に施設を利用できるファブラボ利用者の増加を図る。

（4 月～3 月までの第 2・4 土曜日開催／年 16 回／定員各 10 人）

オ 企画事業（5 事業）

- ・会員研修
- ・夏休み工作体験（8 月／定員 10 人）
- ・クリスマス LED 工作体験（12 月／定員 10 人）
- ・デジタル工作 a < 刺しゅうミシン > 体験（8 月／定員 10 人）
- ・デジタル工作 b < ガーメントプリンター > 体験（12 月／定員 6 人）
- ・☑ 大人のクラフト体験（3 月／定員 6 人）

④ものづくりアドバイザー派遣事業

鳥取市内の小・中学生を対象にものづくりアドバイザーの派遣事業を実施し、小・中学生におけるものづくりに対する意識の啓発を行い、ものづくり人材の育成を図る。

ア 実施期間：前期（4 月～9 月）、後期（10 月～2 月）

イ 対 象：鳥取市在住の小学生及び中学生が所属する団体

ウ 開催回数：前期、後期の合計で 40 回程度

⑤市民教授ネットワーク

各分野で知識、技能、指導経験を有する講師を登録し、鳥取市の地区公民館などの派遣要請を仲介し、市民の生涯学習活動の支援、充実を図る。

ア 募集期間：4 月～2 月

イ 対 象：鳥取市内の地区公民館、地区公民館を利用する団体など

（4）麒麟のまち鳥取市美術展（3 事業）※鳥取市受託事業

麒麟のまち鳥取市美術展事業は、鳥取市並びに麒麟のまち鳥取市美術展運営委員会が実施する同事業の一部を受託し、麒麟のまち圏域の方へ、入賞作品の展示によって鑑賞の機会を提供することに加え、美術の基礎や実技を学ぶことができる持続的な環境、並びに子どもたちが美術活動に参加・体験できる環境を提供し、将来の文化活動を担う人材を育むことを目指す。

①第 65 回麒麟のまち鳥取市美術展

- ・日 時 令和 8 年 5 月 31 日（水）～6 月 7 日（日）9:00～17:00
- ・搬 入 5 月 23 日（土）・24 日（日）
- ・審査会 5 月 25 日（月）・26 日（火）

- ・表彰式、開会式、ギャラリートーク 5月31日（日）

- ・搬出 6月8日（月）

- ・会場 鳥取県立博物館（鳥取市東町）

②麒麟のまちアートクラブ

- ・内容 美術の基礎や実技を学び、作品制作に取り組む。

- ・日時 令和8年6月～令和9年2月 月2回程度土曜日開催（予定）

- ・会場 鳥取市こども科学館 工作室1（予定）

- ・対象 麒麟のまち圏域の住民小学6年生から高校3年生まで

- ・定員等 15名 無料

③麒麟のまちアートワークショップ

- ・内容 気軽に組みあわせる美術作品の制作。

- ・日時 年4回（予定）13:30～15:30

- ・会場 鳥取市こども科学館 工作室1（予定）

- ・対象 麒麟のまち圏域の小学4年生から小学6年生まで

- ・定員等 15名 無料（別途材料費自己負担）

（5）芸術家バンク登録者派遣事業 ※鳥取市受託事業

市民が文化芸術に触れる機会を通じて、心豊かな市民生活の形成に寄与するとともに、地元芸術家の活動の場をひろげ、地域における文化芸術の振興及び担い手育成を図ることを目的として、鳥取市芸術家バンクに登録者している芸術家を市内の施設等に派遣する。

- ・開催期間 令和8年6月～令和9年2月（予定）

- ・会場 鳥取市内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校（小学部・中学部に限る）地区公民館

- ・対象者 鳥取市民

- ・参加費 無料

- ・内容 文化芸術に関する公演またはワークショップ等

- ・派遣講師 鳥取市芸術家バンク登録者

（6）明治大学連携10周年事業 ※鳥取市受託事業

鳥取市と明治大学が平成28年に連携協定を締結し10周年を迎えるにあたり、鳥取市と明治大学のつながりに関心をもっていただき、地域社会と学術・教育の発展に寄与することを目的とし、多くの市民の方々が直接歴史に触れる機会を図る。

- ・開催日

- ①企画展 令和8年11月 7日（土）～11月15日（日）（予定）

- 令和8年11月14日（土）～11月26日（木）（予定）

- ②講座・トークセッション 令和8年11月8日（日）（予定）

- ・内容

- ①企画展

- 創業者 岸本辰雄から日本初の女性弁護士 中田正子らに関する展示

- 会場：鳥取市文化センター展示ホール、鳥取市役所 麒麟 square

- ②「岸本辰雄についての講座」「鳥取市と明治大学の所縁についての

- トークセッション」会場：鳥取市文化ホール

- ・入場料 無料

(7) 麒麟のまち・ひと未来プロジェクト（自主事業／全5事業）

鳥取市文化センターを麒麟のまちにおける文化芸術の中心拠点として位置付け、文化芸術事業を通じて、「まちづくり」「ひとづくり」を目標に「麒麟のまち・ひと未来プロジェクト」と題して、地域に根ざした取り組みをより一層推し進めます。

①鑑賞（2事業）

- ・ギャラリーコンサート

地元にゆかりのある若手アーティスト等によるコンサート（年3回／7月・9月・1月）

- ・宝くじ文化公演「スクリーンミュージック」

映画の名曲を、川井郁子、東儀秀樹ら出演により、ヴァイオリン、箏・笙ほかの『生演奏』でお届けします。鳥取市、（一財）自治総合センターとの共催事業（年1回）

②交流促進・賑わい創出（2事業）

- ・合唱フェスティバルAmabile

麒麟のまちで活動する学生から一般の合唱団体による合唱祭（年1回）

- ・ミニアートギャラリー

麒麟のまち圏域の芸術家や文化芸術団体による様々な芸術作品の展示会（年3回）

③施設体験・普及（1事業）

- ・スタインウェイピアノを弾こう！

世界の名器スタインウェイピアノを気軽に利用していただく体験会。小学生以上対象。希望者には有料で演奏録音可能。

（2月13日、14日の2日開催）

(8) 鳥取・放送文化ライブラリーの運営（受任事業）

郷土に関する放送番組の保存、公開を通じて地方文化の向上に寄与する。

ふるさとの映像を見る会（毎月1回開催）

(9) その他

- ①日進地区・吉方温泉三丁目町内会との防災活動共催

- ②鳥取市立南中学校職場体験「わくわく南」など小中学生の社会体験活動、見学、授業への協力等

- ③施設周辺の清掃など地域の環境美化活動取り組み

- ④多機能型事業所へ施設外周清掃を委託

4. 鳥取市民会館の管理運営

市民の文化の向上と福祉の増進を図り、鳥取市との協定内容の確実な履行を果たしていく。指定管理期間の3年目を迎える。

(1) 施設管理

10月以降は、空調等設備改修工事で休館予定。

(2) 次世代育成支援事業（4事業） ※鳥取市受託事業

若者層を対象とした文化芸術事業を行い、文化芸術の振興と次世代育成の推進をはかる。

①0歳児からのコンサート

文化芸術に触れる機会を得ることが難しい乳幼児とその保護者を対象とし、気軽に参加して生の音楽に触れさせることができるコンサート。出演者は地元の若手音楽家を起用。（年2回／6月・12月）

②中学生のための吹奏楽クリニック2026

市内中学校の吹奏楽部員を対象に、それぞれの各楽器の指導者を招き、専門の指導を行う。

吹奏楽の底上げをはかるとともに、学校の域を超えた交流を促進し、将来の実践者の育成も併せて行う。（年3回）

③和太鼓ワークショップ

芸術を自ら体験することを重視したワークショップ。市内の子どもたちを対象に、伝統芸能を体験し、文化芸術に親しむ機会を設ける。普段は体験できない和太鼓の基礎奏法を学び、学んだ成果をステージで発表する。（年1回4講座）

④次世代育成芸術家活動支援事業

鳥取市出身の芸術家が、アート活動の魅力を次世代に広げるため、アートワークショップを市内小学校で開催する。（年1回）

講師：YASU（エアブラシアーティスト）

参加費：無料

（3）麒麟のまち・ひと未来プロジェクト（自主事業／全7事業）

鳥取市民会館を麒麟のまちにおける文化芸術の中心拠点として位置付け、文化芸術事業を通じて「まちづくり」「ひとづくり」を目標に各種団体と広く連携し、文化芸術の持つ力でまちづくりを目指す「麒麟のまち・ひと未来プロジェクト」と題して、地域に根ざした取り組みをより一層推し進めます。

①鑑賞（1事業）

- ・人形劇団あつけらかん♪『おまえうまそうだな』公演

人形劇団「あつけらかん」が上演する「おまえうまそうだな」は、宮西達也氏の同名人気絵本を原作とする新作演劇。鳥取おやこ劇場共催事業

②交流促進・賑わい創出（4事業）

- ・麒麟のまち和太鼓の祭典

麒麟のまち圏域（1市6町）の和太鼓団体により、和太鼓の素晴らしさを伝え、地域の文化芸術の振興と愛好者の拡大を図る。

- ・アフターコンサート

竹田詩織さんのヴァイオリン演奏によるコンサート。会場は屋外（鳥取市まちなか交流広場）を予定。開演は日の入り時刻から太陽が沈みきるまでの約30分を予定。音楽とコーヒーなどを飲みながら夕暮れのひと時を楽しんでもらう。

- ・ミニアートギャラリー「きらめきアート展」（地域活性化事業）

地元の文化団体による文化芸術活動の紹介と、作品展示を近隣公共施設5会場でリレー開催し、地域の文化芸術振興と、施設周辺の賑わいづくりを狙う。

- ・第8回 ～麒麟のまち～中学校吹奏楽フェスティバル

市内及び麒麟のまち圏域中学校吹奏楽部を対象に参加を募集し、若いアーティストの新たな体験、レベルアップを図り、地域の文化芸術の振興と交流人口拡大を狙う。

③施設体験・普及（2事業）

- ・こども茶道体験会

体験的学習活動等休業日（やってみようで1week）に、子どもたちの体験活動などの機会を提供する。

- ・スタインウェイピアノを弾こう！

大ホールのステージでお得にスタインウェイピアノを弾いていただき、ホールならではの響きや、市民会館の価値を再認識し、文化芸術を身近に感じていただく。希望者には、演奏の録音（有料）も可能。

（4）その他

①掛出町内会との防災活動共催

②地域との一斉清掃

③多機能型事業所へ施設外周清掃を委託

5. 鳥取市まちなか交流広場の管理運営

市民の交流や中心市街地の賑わい創出を図るとともに、市民の防災意識の高揚に資するよう努め、鳥取市との協定内容の確実な履行を果たしていく。指定管理2年目を迎える。

(1) 施設管理

(2) 自主事業

①鳥取防災アカデミー（3事業）

- ・歴史から学ぶ鳥取の防災（年2回開催）

交流広場の機能（鳥取大地震の慰霊碑、火災・水害看板など）を活用し、広場を拠点とした歴史文化を学習するイベントを開催する。

【講師：鳥取まちなかガイドの会】

- ・防災体験会（年に1回開催）

防災ボトル作りなどを通じて、市民の防災意識を高める。

【講師：未定】

- ・芝生で遊ぼう（年に1回開催）

野外レクリエーションを通じて防災意識を高める。

【講師：鳥取赤十字奉仕団】

6. 鳥取市武道館等の管理運営

市民のスポーツ振興と健康の増進を図り、武道、テニスの普及に努めていく。指定管理を更新し、初年度を迎える。

(1) 施設管理

①鳥取市武道館

②鳥取市千代テニス場・鳥取市城北テニス場

4月～12月・3月

(2) 自主企画事業

①武道教室（2事業）

柔道、剣道の各連盟と連携を図りながら、武道を通して礼節、技術、体力を身に付け、豊かな人間性の涵養を目指す。

- ・柔道教室（年80回）

対象：幼児・小学生（定員30人）、中学・高校生・一般（定員15人）

- ・剣道教室（年80回）

対象：幼児・小学生（定員：15人）

②健康スポーツ教室（1事業）

- ・リラックスヨーガ教室

一般利用者の拡大と、市民の健康増進をはかる。

初級者向けと中級者向けの年2回開催。

(3) その他

①鳥取市武道館稽古始め及び鏡開き式

鳥取県東部地区の柔道・剣道・弓道・空手道・なぎなた・太極拳の関係者6武道7団協働で開催。

②テニス場無料開放

令和4年度から鳥取市教育委員会が導入している「やってみよう！でー（day）体験的学習活動等休業日」に千代・城北テニス場を無料開放する。

（5月、11月／年2回）

③鳥取県認定健康づくり応援施設

（平成25年11月29日認定）

7. 鳥取市国府町コミュニティセンター等の管理運営

地域住民の文化の向上と福祉の増進を図り、鳥取市との協定内容の確実な履行を果たしていく。指定管理期間を更新し、初年度を迎える。

(多目的ホール：令和8年4月から令和9年3月まで特定天井改修工事のため休館。)

(1) 施設管理

- ① 鳥取市国府町コミュニティセンター
- ② 鳥取市国府町農村勤労福祉センタープール 6月下旬頃～8月31日

(2) 自主企画事業

①鳥取市国府町コミュニティセンターの自主事業（3事業）

・コミュニティギャラリー

様々なジャンルの文化芸術に日常的に触れ合うことを目的とし、地元アーティストの文化芸術活動の紹介と作品展示・販売を行い、鑑賞の機会を提供する。令和8年度は、写友会カプリシャスの写真展を開催。

・こどものためのミニコンサート

未就学児とその保護者、家族を対象に、気軽に参加して子どもが生の音楽に触れることが出来るコンサート。出演者は地元の若手音楽家など。

・糸掛けアート体験

クリスマスにちなんだ「糸かけアート作品」の製作体験ワークショップ。釘と糸を使用したシンプルな幾何学模様の作品作りを体験。

②鳥取市国府町農村勤労福祉センタープールの自主事業（1事業）

・鳥取市小学生水泳教室

泳げない市内小学生を対象に、鳥取市水泳協会指導員から、水泳の基本、楽しさを学ぶ。

まずは水への恐怖を取り除く「水慣れ」から始め、ビート板の利用やプール歩行、呼吸練習など、遊び感覚で成功体験を積み「出来た」を重ねていく指導を実施。夏休み期間中に開催。

8. その他定款の目的を達成するために必要な事業

(1) SDGsの実現に向けた取り組み

とっとりSDGsパートナー登録（令和4年6月30日）

- ①市民の皆様が心豊かに健康で過ごしていただけるよう、生涯学習やスポーツの機会を促進するとともに、質の高い文化芸術の提供に取り組みます。
- ②女性の活躍を推進し、ハラスメントの防止や育児・介護への配慮など働きやすい職場環境づくりに取り組みます。
- ③職員の人材育成を推進するとともに、職員の健康増進やワーク・ライフ・バランスの推進を図り、互いに成長しあえる職場づくりに取り組みます。
- ④資源消費の低減、業務のデジタル化、効率化に継続して取り組み、生産性向上と、コスト削減を目指します。

(2) 地域の文化・芸術活動への協賛・後援

- ①鳥取市民美術展 版画部門（協賛）
- ②鳥取しゃんしゃん祭（協賛）
- ③その他、地方自治体、文化団体等の活動に対する名義後援、広報協力

(3) その他の取り組み

- ①鳥取県がん検診推進パートナー企業認定（平成25年12月4日）
- ②あいサポート団体認定（平成30年1月5日）
- ③鳥取市男女共同参画かがやき企業認定（令和2年12月1日）
- ④社員の健康づくり宣言事業所認定（令和3年10月8日）
- ⑤家庭教育推進協力企業認定（令和5年12月15日）
- ⑥鳥取県男女共同参画推進企業認定（令和5年12月26日）

8 収支予算書 総括表

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	1,000	1,000	0	
基本財産利息収入	1,000	1,000	0	
特定資産運用収入	2,000	2,000	0	
特定資産利息収入	2,000	2,000	0	
事業収入	261,018,000	242,441,000	18,577,000	
利用料収入	35,349,000	39,846,000	△ 4,497,000	
委託料収入	25,486,000	20,294,000	5,192,000	
指定管理料収入	200,183,000	182,301,000	17,882,000	
補助金等収入	67,533,000	62,444,000	5,089,000	
地方公共団体補助金収入	67,533,000	62,444,000	5,089,000	
負担金収入	177,000	252,000	△ 75,000	
負担金収入	177,000	252,000	△ 75,000	
雑収入	5,290,000	5,571,000	△ 281,000	
雑収入	5,290,000	5,571,000	△ 281,000	
事業活動収入計	334,021,000	310,711,000	23,310,000	
2. 事業活動支出				
事業費支出	308,514,000	285,586,000	22,928,000	
給料手当支出	98,902,000	91,048,000	7,854,000	
臨時雇賃金支出	1,607,000	1,368,000	239,000	
賞与手当	21,181,000	17,701,000	3,480,000	
退職給付支出	2,670,000	2,292,000	378,000	
福利厚生費支出	19,603,000	18,043,000	1,560,000	
旅費交通費支出	245,000	272,000	△ 27,000	
通信運搬費支出	2,790,000	2,482,000	308,000	
消耗什器備品費支出	2,897,000	631,000	2,266,000	
消耗品費支出	5,999,000	4,892,000	1,107,000	
修繕費支出	9,184,000	11,119,000	△ 1,935,000	
印刷製本費支出	1,992,000	1,400,000	592,000	
燃料費支出	1,751,000	2,611,000	△ 860,000	
光熱水料費支出	47,206,000	46,297,000	909,000	
賃借料支出	4,735,000	4,421,000	314,000	
保険料支出	1,163,000	1,095,000	68,000	
諸謝金支出	5,641,000	5,042,000	599,000	
租税公課支出	14,969,000	13,494,000	1,475,000	
負担金支出	767,000	802,000	△ 35,000	
委託費支出	52,183,000	51,807,000	376,000	
手数料支出	4,162,000	3,798,000	364,000	
諸経費支出	6,452,000	3,612,000	2,840,000	
管理諸費支出	751,000	699,000	52,000	
雑支出	1,664,000	660,000	1,004,000	
管理費支出	25,505,000	24,758,000	747,000	
役員報酬支出	3,300,000	3,300,000	0	
給料手当支出	11,661,000	11,154,000	507,000	
賞与手当	2,111,000	2,011,000	100,000	
退職給付支出	504,000	504,000	0	
福利厚生費支出	2,292,000	2,588,000	△ 296,000	
旅費交通費支出	27,000	54,000	△ 27,000	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
通信運搬費支出	137,000	137,000	0	
消耗什器備品費支出	10,000	10,000	0	
消耗品費支出	600,000	600,000	0	
修繕費支出	40,000	40,000	0	
燃料費支出	20,000	20,000	0	
賃借料支出	1,431,000	1,023,000	408,000	
保険料支出	251,000	206,000	45,000	
租税公課支出	2,265,000	2,234,000	31,000	
負担金支出	231,000	226,000	5,000	
手数料支出	405,000	431,000	△ 26,000	
管理諸費支出	85,000	85,000	0	
雑支出	135,000	135,000	0	
事業活動支出計	334,019,000	310,344,000	23,675,000	
小計	2,000	367,000	△ 365,000	
事業活動収支差額	2,000	367,000	△ 365,000	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	2,000	2,000	0	
退職給付引当資産取得支出	1,000	1,000	0	
財政資金積立資産取得支出	1,000	1,000	0	
固定資産取得支出	0	365,000	△ 365,000	
建物購入支出	0	235,000	△ 235,000	
什器備品購入支出	0	130,000	△ 130,000	
投資活動支出計	2,000	367,000	△ 365,000	
投資活動収支差額	△ 2,000	△ 367,000	365,000	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	